拾烏蘭杜拾七集

内閣文庫
和書
類 三一六六七
號
冊 三二
函 五
架 二

内閣文庫
番號 和 31667
冊數 32 (17)
函號 151 14

7

綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

格烏蘭杜十七集

原朝方紀後何悲口恨神兵未掃夫魂魄不歸天
生の陳地七星此世獲皇基

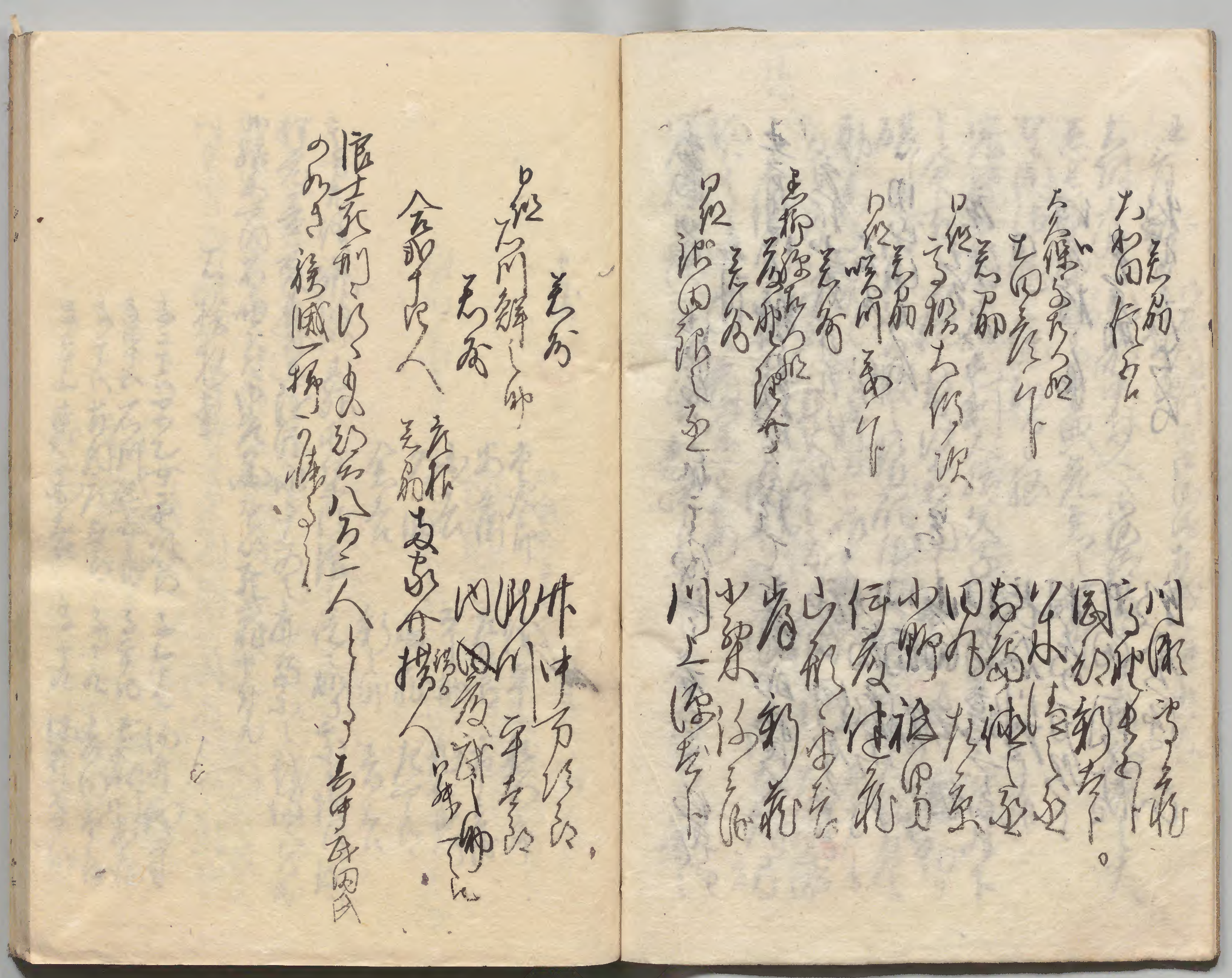
右述懷　我邦　水戸浪士　国分新左衛門

一、此歌ハ二月初九

此のうらみ晴るの物語とりそまさこと知れぬ
ものの哀れ

清世
主風の物の句なれば
詠むなとそ

国立公文書館
National Archives of Japan

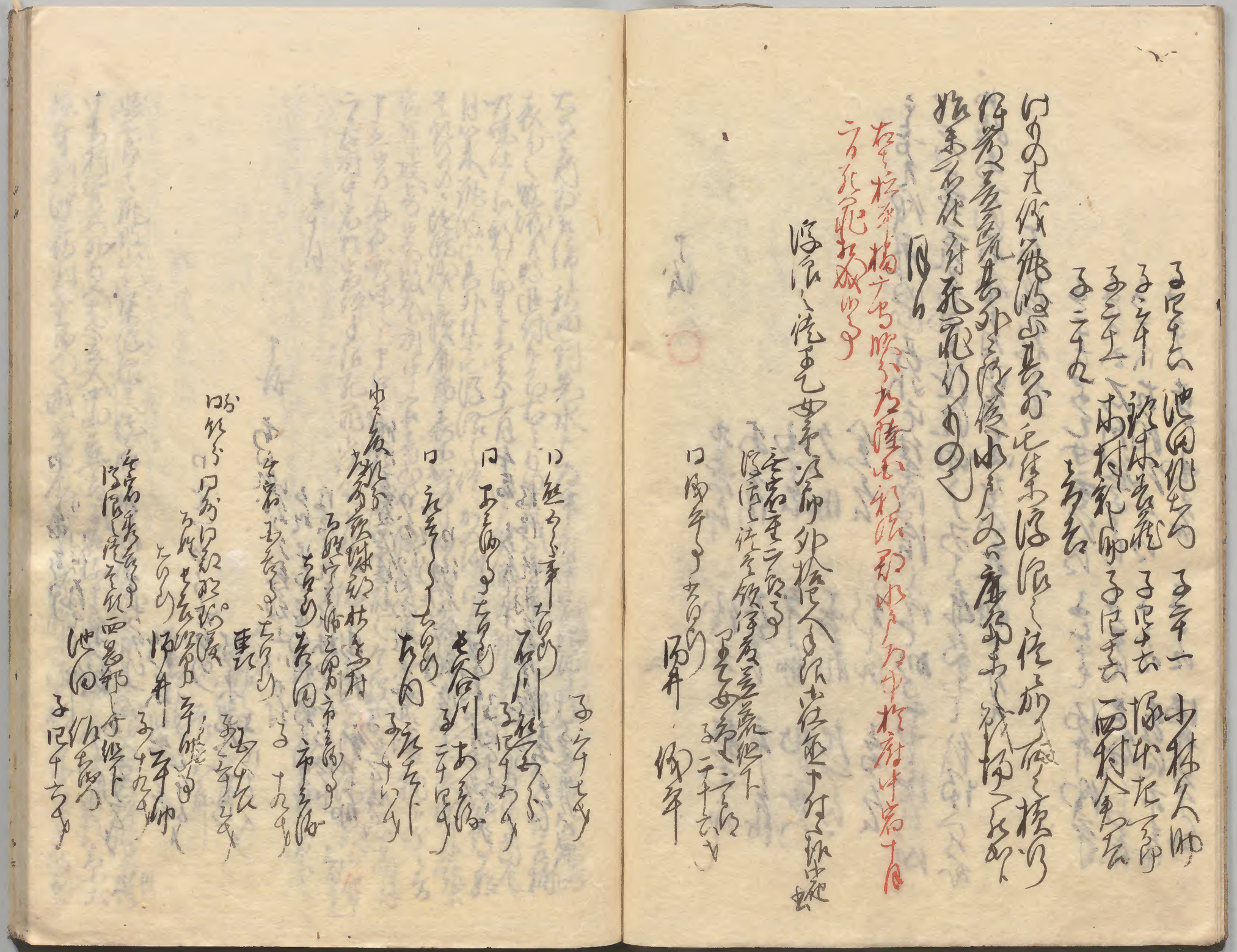


中務

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

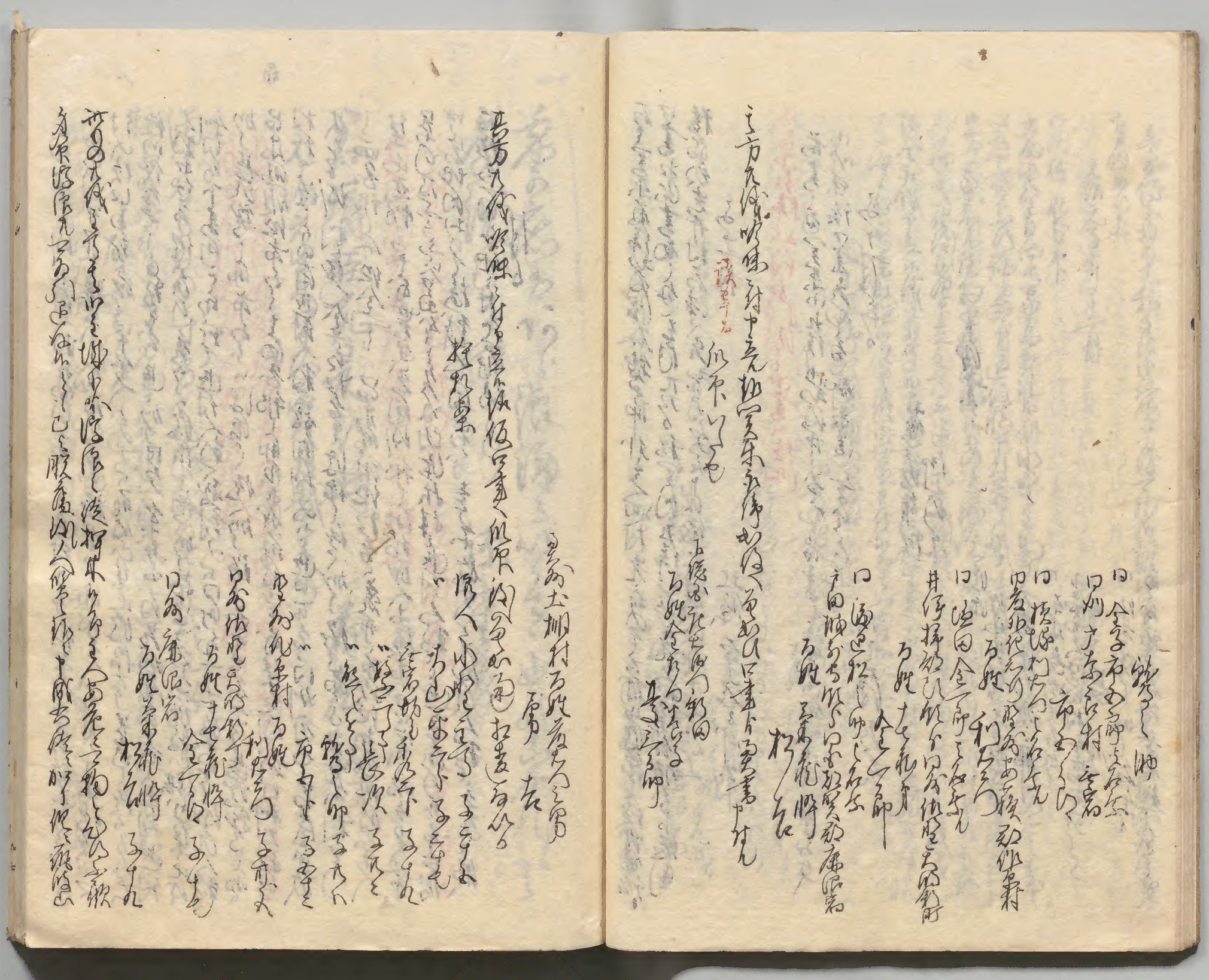
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

哀悼

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪中松和尚まつ　拙堂

行脚仰青空　吹雪

文治元年四月廿日　田南山

夢覚生涯枕孤舟　方丈記

東八男院百屋　天皇　常盤

拙誠　拙堂　源氏物

男児意地　王家忠臣　柳一身

如の放香芳を花　源氏

秀雪の人ちらかりの色おりて　文の海山福花

吟詠　水宮

忠魂如玉霞　皇基　吹雪

忠魂如玉霞　皇基　高東洋

はるかに見て　[illegible]

[illegible]

可嘆摩世の夫庭覧越八州

拙堂　用心初五郎

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

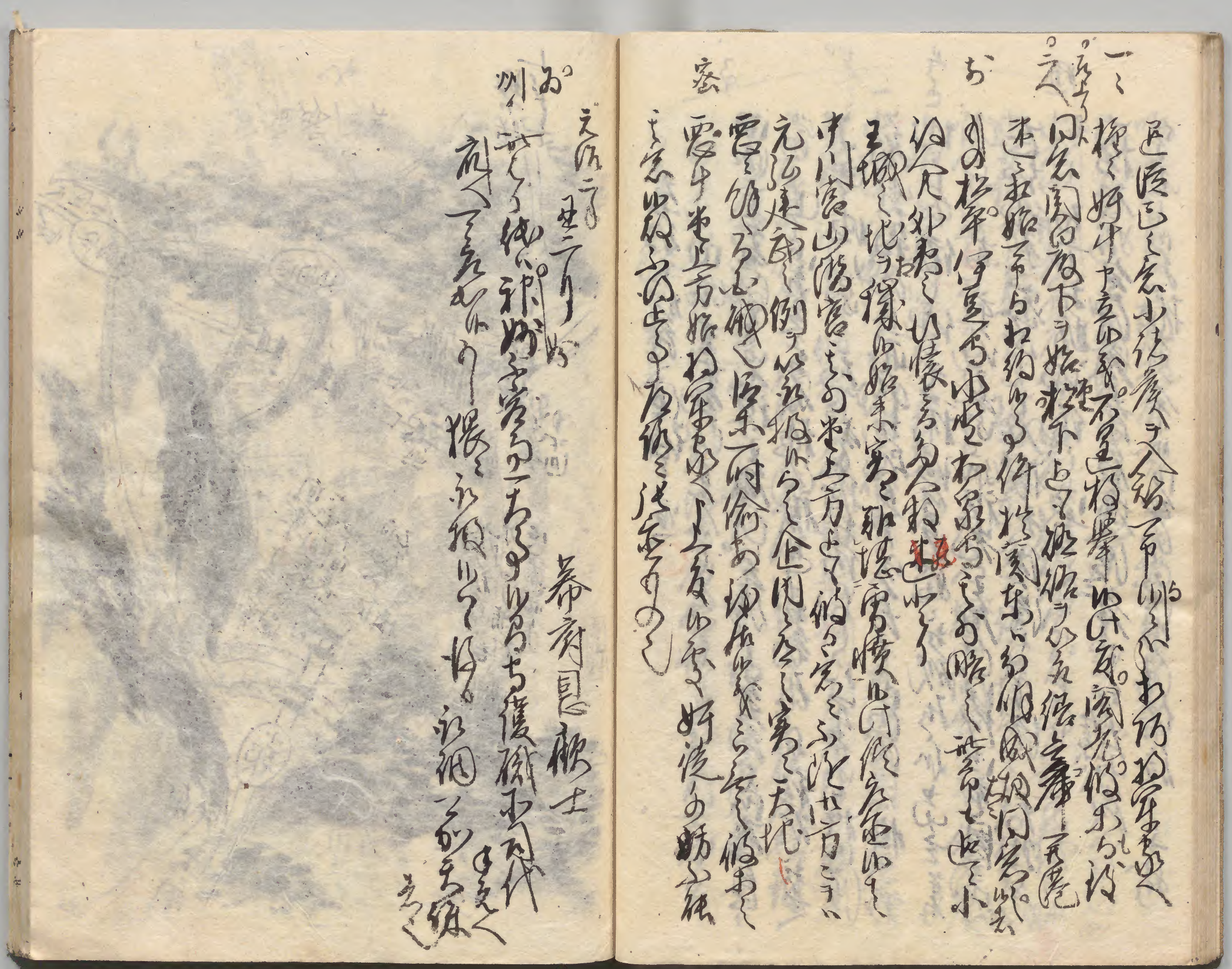
[illegible]

[illegible]

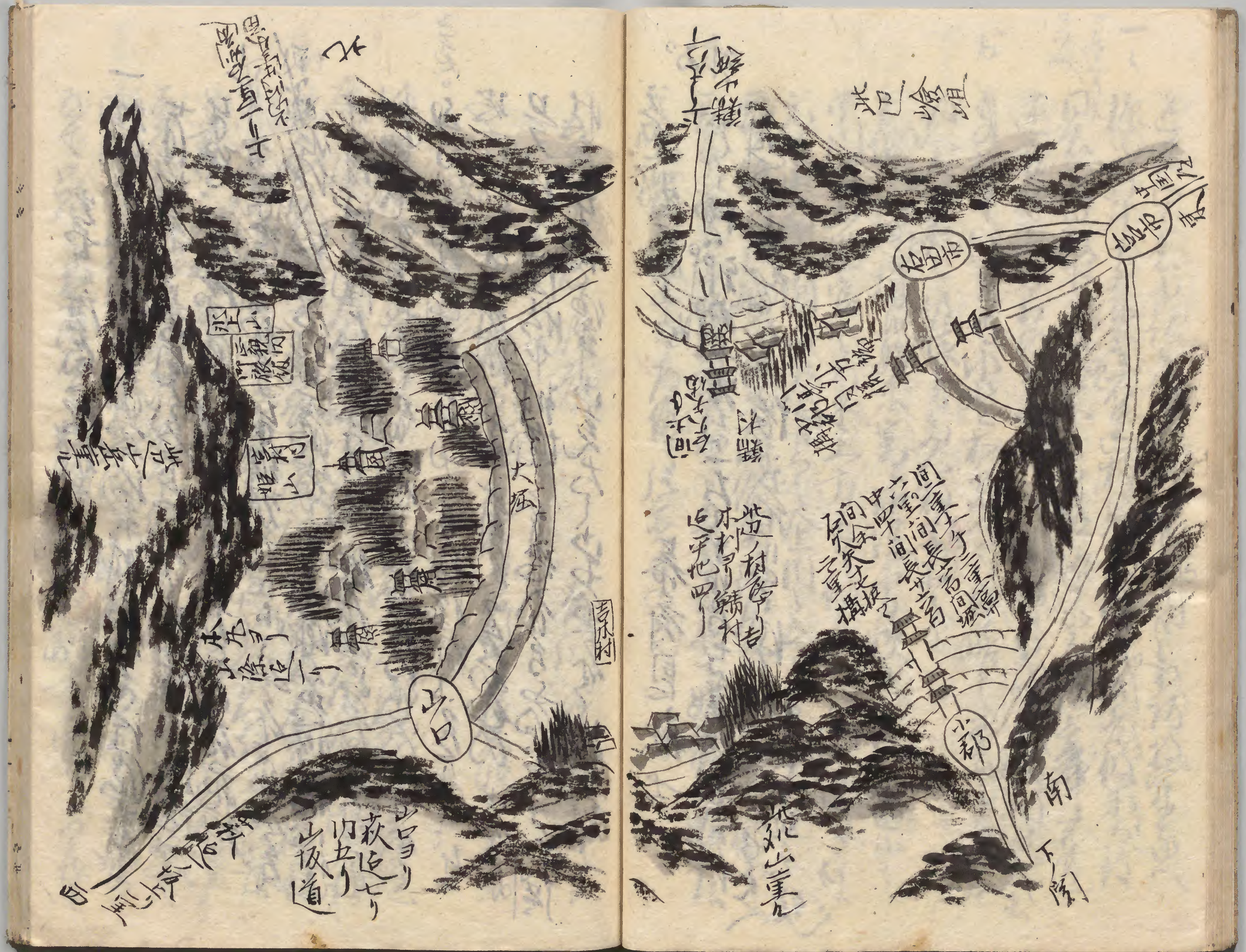
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan



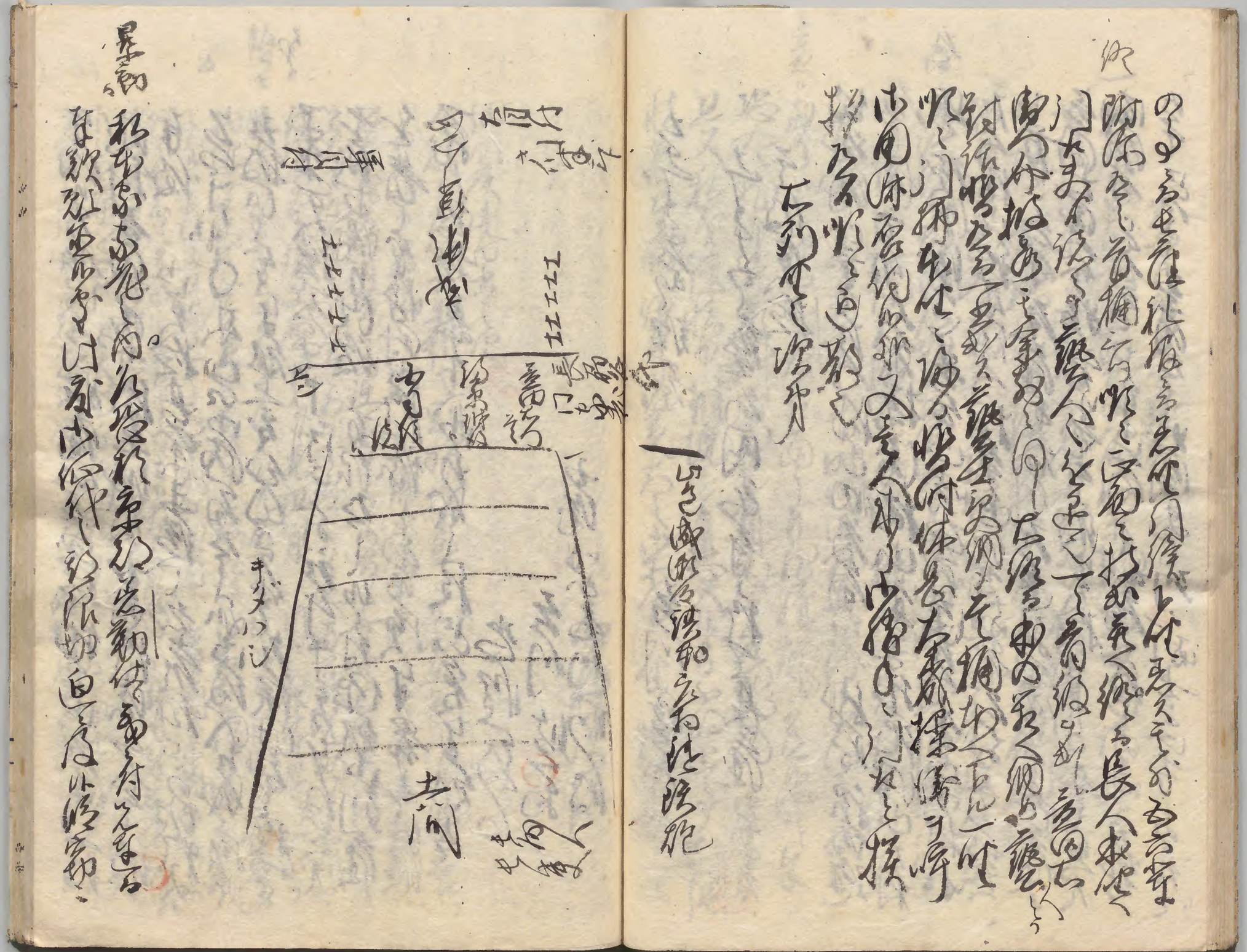
国立公文書館
National Archives of Japan


南
下関
花尾山
小郡
間倉
間倉
間倉

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上海ニて　高麗　或ダバッタ　但　拾弐銭
ミニケ五ん　三千銭
右候二万ドル

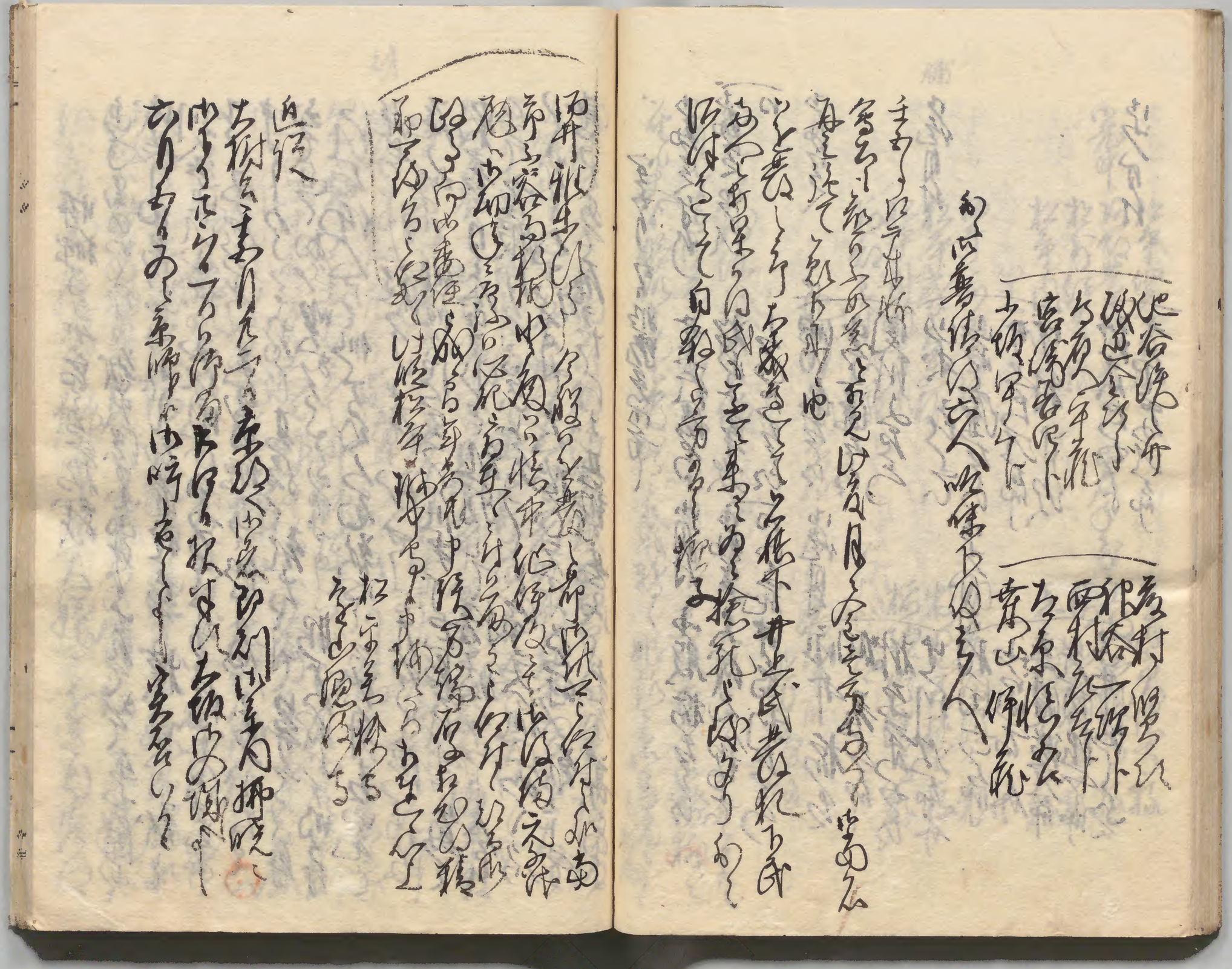
右候ニて申候を上海ニて拾弐万八千ドルニ売申候
四二万ドルニ以候ヲ抑　要ニ利加船　仏国人　千船
要ニ利加船　仏国人　五人　仏国人　五人
ドルニ改　仏船ヲ　仏船ヲ　仏国人
ふるい物　仏国人

一　丑　月

拾長崎ニて　ふるい物　仏国人
九　月　上海ニ乃　拾弐　仏国人
拾　月　上海ニ乃　拾弐　仏国人
拾　月　上海ニ乃　拾弐　仏国人

第三ニ　仏国人
第三ニ　仏国人
第三ニ　仏国人

国立公文書館
National Archives of Japan



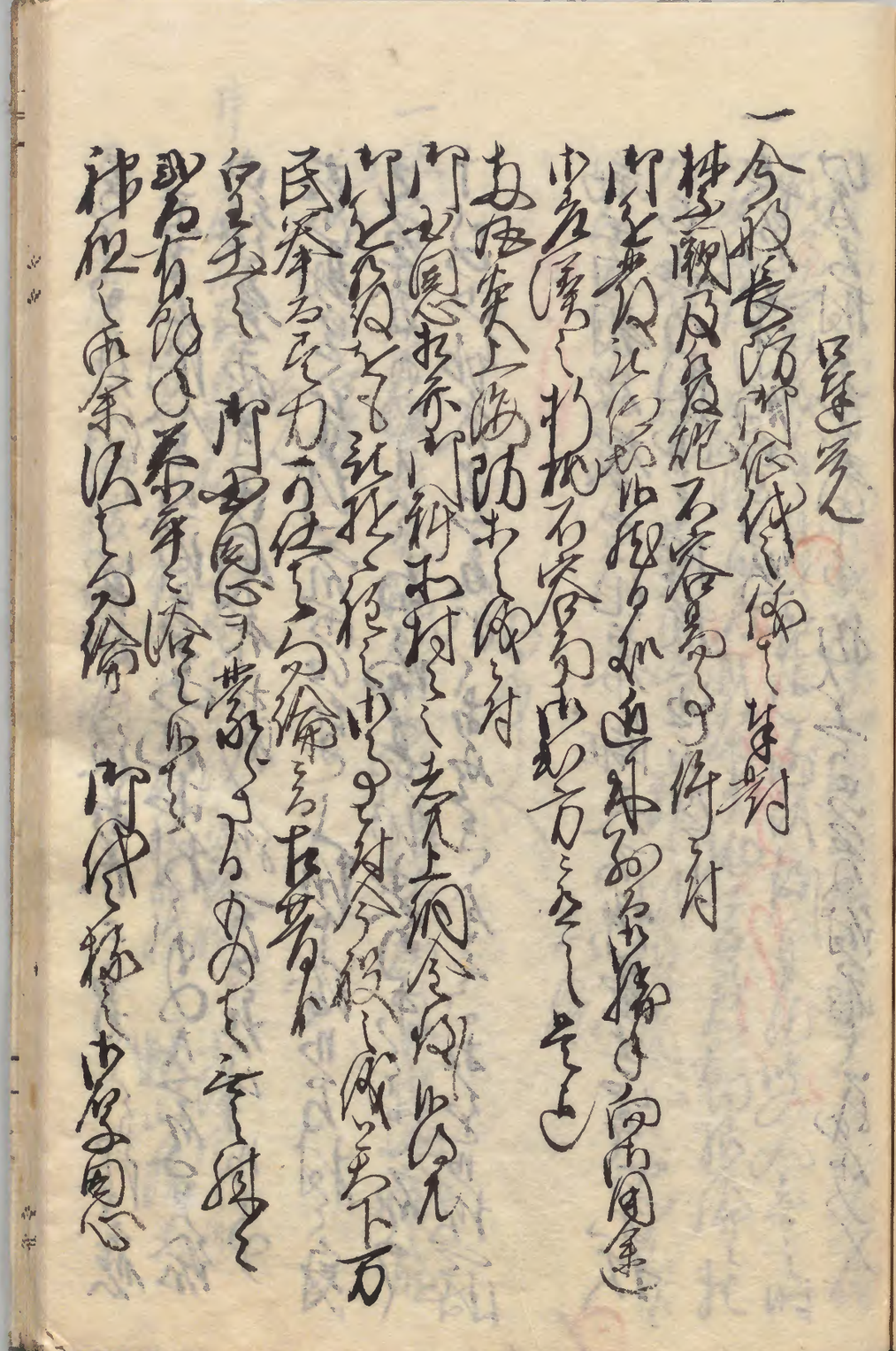
国立公文書館
National Archives of Japan

獅子舞

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

一

勤王方朝敵振武化幕離天下怪魔之元秋
右長州国賊を討伐仕候

一長州表へ御出馬[illegible]

[illegible]

一豊前小倉表へ御出馬[illegible]
[illegible]

井

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 去ル和田峠ニて伊那ノ方ニ打合ノ節ハ
ひん抜ケ[illegible]ハ伊那ノ方ニ打ハ和田峠
ノ方ノ人ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

○壬申月廿二日　京都下元　大村藩ヨリ申し出ル

一　朕ハ右長ノ者ヲ不到別紙ニ

一　朕ハ別紙長ノ文ヲ世ニ別紙ニ而今ハ別紙之

一　朕ハ右報ヲ世ニ京ニ長崎ニ而ハ

諸侯代ニ御静ニ右ヲ世ニ長崎ニ而ハ此之者ヲ

長州侯　薩摩侯　同藩ヲ参上ス写

一　朝廷ニ兵機ハ総ヲ上京ニ不到ハ

久度ハ上京中ノ上京ハ

毎ニ上京ニ而ハ不敢

ハ如其ハ滞京ハ

大村藩長州侯ハ

京ニ而　皇国ニ尽力ニ成ル者ヲ

ハ上京ニ討ル

御代ニ

ヲ上京ニ

毛利

〃〃〃

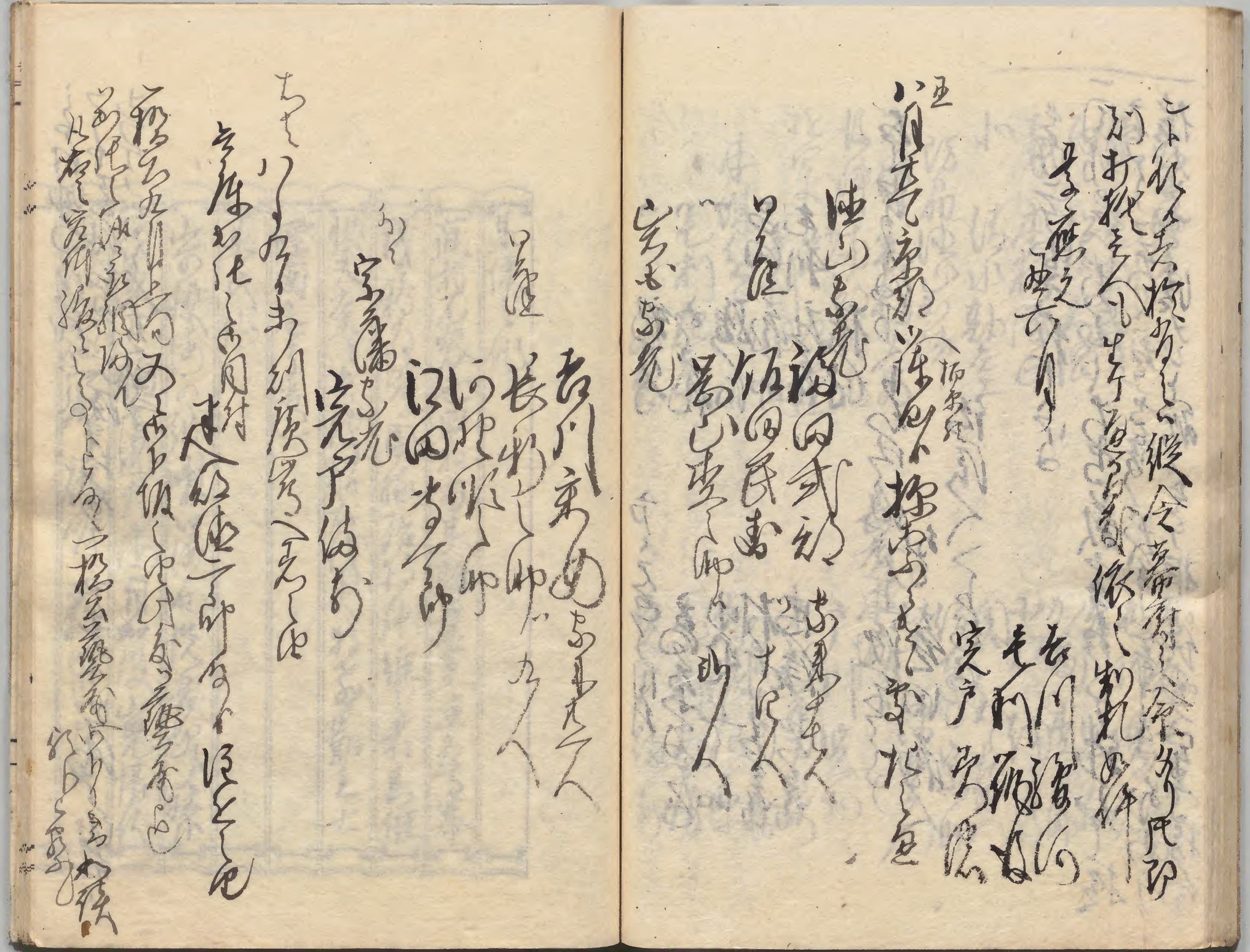
〃〃〃

〃〃〃

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

其後之儀

直右衛門世話有之其節奉行所
幕

議論之儀ニ付関係之者
惣夫達ニ代参之儀
願之上

深川屋
其民儀

山の手御屋敷
妹

長屋ニ胸痛ニ付
自分山見物

御願ニ付

尾州侯ハ関東へ使向
毛利大納言父子ハ如何容易企有之哉
情実伺ハ仕候ハ
ゝ
ゝ
ゝ

廿二日廿三日晴　れいのごとく行ひ申候

[illegible]

[illegible]

[illegible]

幕府の元祖と被さん事と存ぜ候の為に
茶筅丸様を御養子に被遊候事
なるよしにて元祖を被さんとの
西川宮ほか
源光上京して茶筅丸様
一名茶筅丸様東下りなり 平上京兵部卿
おとりなり
さて此れ有り度き事共抑々幕府衰
衰弱人心不和世上騒擾に相成
大坂城出来して天下を治め世上
源光上京なるべきにて風説
人心を収め新政を
幕府の衰し

人心和協和僕弟猶ほ以て
幕府を倒し自己の志を
しんとす力にて隆盛
幕府の元と成り
去年の事起さんとの名義
実に奸雄天下の為
きの設を強地に陥さんとの
共家多くの事
大村公幕府の
を決して
幕威再び振起の
幕威大なるべし

是

偶ま大内氏の貿易船の
入港を報ぜざるべからず
祖武は其中世の所業
を
之を
或は好人を招き
接すに日蔵と称して
来たりて
天皇を
山城業
嘯時三宝の剣
大内の時
大村公の品
大村公の
旅あるの
大下
日蔵と称する
武士
天皇
威張
海賊
大内氏
拝
大内氏
大内氏
大内氏

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こ必ずしも國武張の場　ニ武士和
し振り出して後藤の夜叉なるべ
しと思ひて時を待て叫ぶ
の面目確乎たるものとなり
清盛のときに其前のなりしこと
さるのみなるべしと云ふ家光ニ
と仮のすがひさるを身を変て
懸き詞とするを紙をさ作
幕府書付に長安大孫を家て下し
権を振ふなり
皇恩のあ花

徳川幕府の典廃に系保するの
大なる体を拝するを
村に廉恥と知る
機を失ふすなれ
ずを書ることなり
ニ付て次のことを
お村公の面目をう
大の名下にて安住せ
ゾや所ちと名
何ることなり
変わるものの
後するものの
大なる体を拝するを
村に廉恥と知る
機を失ふすなれ
ずを書ることなり
ニ付て次のことを
お村公の面目をう
大の名下にて安住せ
ゾや所ちと名
何ることなり
変わるものの
後するものの

なるべき筈の事にて 秀吉すま
しと云て別て意をすべし 其又
敵に当あしなるの一偏に元より為
二度の働を出さるに付 出馬仕
南部其外南北庄内 仕
姫路が嫁てけり 後て家光の御言
兵の高さ一を知べし 二度目三度目
一日兵の高きこと無双と曰 何とも
無義に思ひ 家光にて云
並徒の役をせしめ 府内騒動して
盡さずして暴費せんと出る中 必続
義いわれ 此時姫路の指揮に従ひ
無数を出さるものなり 吾家を以て義
自何の恨しむ 市中三度に仕
此時姫路に乗ぜ 三度の
族と言伝し 幕府自抑する
家光の実母 此川の夫人
しらさると云 吾家を以て
于時西和元年
大阪の乱に投ずる

[illegible]

[illegible]

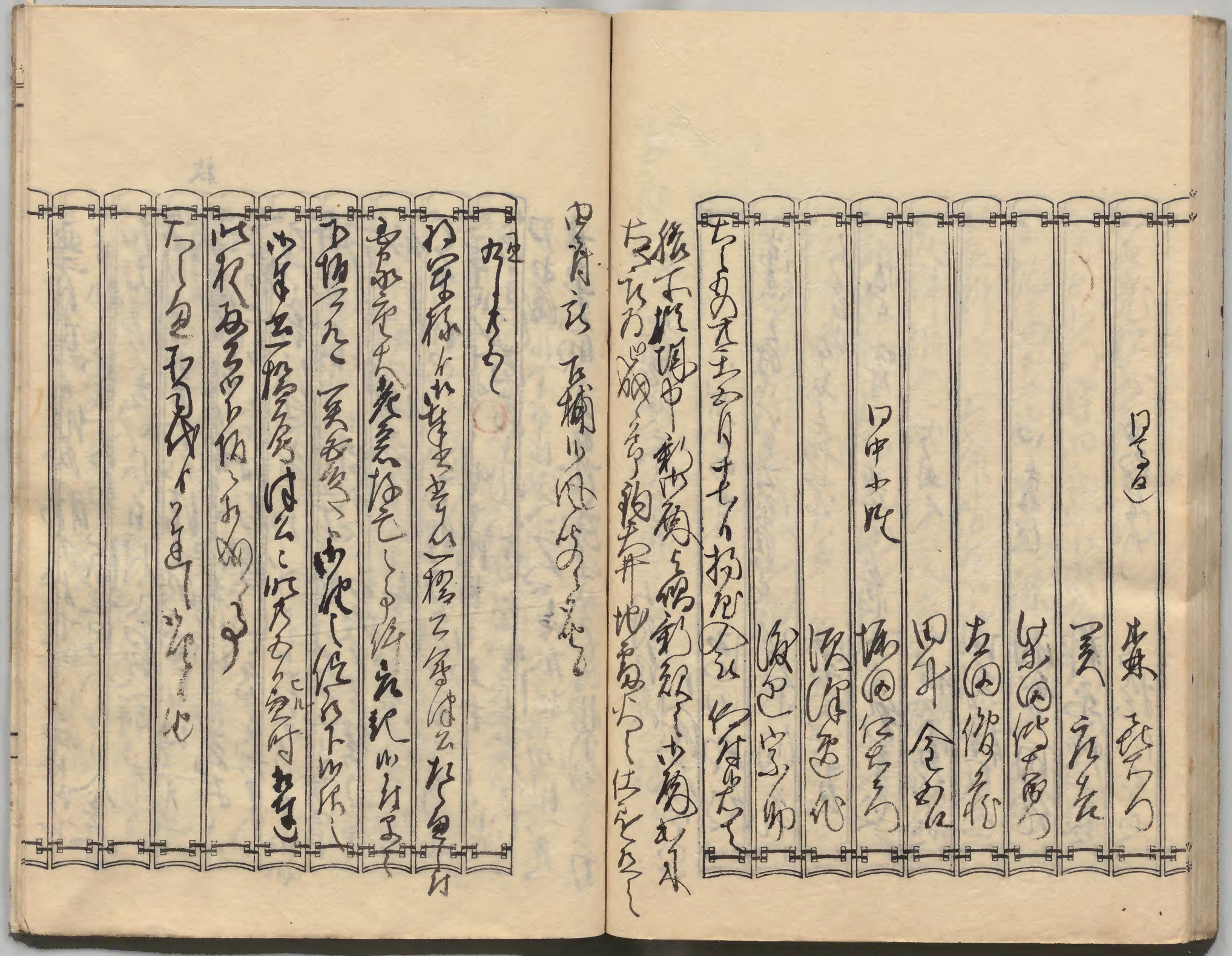
[illegible]

宣旨

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]

[illegible]

[illegible]

馬関防禦書

一 外夷拒絶之義ニ付ては諸藩ニ於ても異論有之ニ付去年
之四月中ハ日新作濱町引接吉田毛利左京亮家来宍戸甚兵衛
今年五月迄防御筋世話ニ付一日新新地ハ萩家老毛利能登之中老玉木伝蔵
和賀海岸警衛向見分ニ有之

一 五月十日夕刻亜墨利加船之艘関防灘之方ハ瓶ヶ崎ヨリ豊前田浦沖ニ碇泊
之仕之有之ニ付長州毒蘭ニ備有之ニ付萩ニ之ハ乗組
夷商船ニ付被差人ニ成る御國人ハ武人ニ成る長州毒蘭ハ百人中ハ中之ハ
之義ニ付御ハ付て打掛合中ハ長州人ハ大ひニ驚き大報之ハ第三ハ夷報ハ帆て被
召打掛之義ハ見合ニ付ハ中義ハ我ハ取合ハ見怪て被除中ハ亜墨利加戦
戦引ニ長州毒蘭ハ毒蘭ハ浪士組ハ右商船を目的ニ大砲数打掛ハ傳ハ程
入ハ墨ハ長州ハ被ハ中商船破損ハ之ハ掛之ハ関防灘之方ハ瓶ヶ崎ハ

英亜両船ハ炮撃ハ無数ニ多ク乗込ミ物別れとなり人数唱ハ集様ニ
唱ハ数百人ニ萩ニ多ク者四月ハ毒霊ニ奇田屯ニ宗光ハ毛ハ毛ハ居
萩家老ニ同所ニ張ル市松某等ニ炮撃ハ一度ニ
一 同月廿三日佛両船ニ艘同所離レ方ハ下津ニ大里ニ滞船ニ付毒霊ニ
外屋場ニ合ニ残場ハ船番山ニ屋場ハ佛両船ニ大炮数挑撃打撃ハ船舶
ニ中リ破損数多倫佛両船ハ炮撃ハ一度ニ廻ル浪人ニ乗込船ヲ目的ニ打ハ
ニ打負人毒霊ニ市中ハ二ニ離レ降共ニ負見物ニ負ル同所市中ニ二ノ者人死
ニ中リ即死数ハ佛国船ニ破損ニ伺ニ方ハ海離レ方ハ船出ル
一 同月廿四日未明英国軍艦ニ艘海離レ方ハ毒霊ニ船入ル前書番山
屋場ハ英両艦ニ大炮数打撃ハ英両艦ハ同様ニ英両艦ハ同所ハ八幡
数度ニ市中人家ニ焼打薬ハ英艦ハ破損ニ二度ニ同所ハ
出張ス死傷ニ者ハ不詳

一 同月廿八日大坂大天満橋子長門屋敷前書新地ニ長崎屋敷ニ
屋敷ハ今ニ銭毒霊ニ帰国六月朔日英両船ニ廻ル同所ハ防別ニ田辺
ニ二ノ船ニ同国山口所ニ郷宅ニ引取ル船ニ破損ニ
国軍艦ニ負ニ出ル合ニ狼煙打揚ル付長州ハ長崎ニ上陸大体村全ク焼
社ニ二正ニ同日ニ四時亜墨利加国軍艦船ニ付番山ニ屋敷ハ大炮打撃ハ
毒亜両艦ハ打ル炮九毒霊ニ船員番所ニ破損打崩ル狼ハ番山ニ屋敷ハ
打込ル炮九同所ハ幡ニ二ツ薙ニ打撃神殿ハ南ル割ニ付神殿下男ニ
上ハ脇ニ打撃ニ死ル――ニ外市中ニ打込ル炮九ニ人家ニ焼打撃
右弾九ニ内目方拾貫目ニ銭九ニ
有ニ三ニ矣但ル拾拾弾ニ出 一ニ市山ニ方ニ船行ハ船狼ニ引返ル撃ニ越ニ
唱ハ場所ニ船番ニ萩ニ多船ニ軍船庚申九発ニ九右銭艦ニ百銭亜両艦
ニ通毒霊ニ備有ニ大炮ニ双方ニ船ニ打ル付庚申九ハ船屋ニ中リ海中ニ
ニ打沉発ニ九ハ破損数右毒船ニ亜船ニ上陸数死傷ハ不ニ出

亜艦六艘を打ち破り長門丸屋一艘亜船有之候壬戌九月船手幕府仕撰
有之候我英大将亜船を存寄武力船を目的大炮打撃仕候壬戌九月船匠異
丑年を近来り海を渡り欧羅巴を経て薩摩湾迄乗込候処人数
四五百人萩長府藩士秘一番砲百発傷之数隻分為亜艦八夕刻国防撤之
方へ艘を為船上に多人数を乗り線打大砲之為
同月五日仏国艦数艘国防撤之方へ艘来左右真長府長城砲目
的大炮数百発打撃其方国所績前田屋傷に数発打撃仕候国所に萩長
府藩士人数凡弐千人程に成長大炮打撃仕候仏国艦へ大炮を打之
山陰に引去候仏人共バッテイラ艦に乗組毎に大炮を人前田
屋傷に乗組上陸いたし府藩家人数探索戦争に取掛候長防人数討
右勢ひを見て仏陸に引右附属寄手バッテイラ大炮数打撃候
仏人に難近寄長防人数移稼に移取掛一時に押撃ケベル炮数打撃候

一

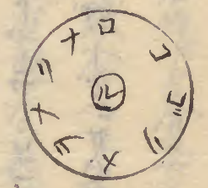
海を長防へ方打すくめ迄山陰へ仏先鋒仏人共右屋傷英左右真長
下屋敷幕直を打毀前田村農家焼拂候萩長府藩家
山内梅之丞を各家懐柔を撰為濡為仏国艦紀大撃為忽仏人共伏
右梅之丞を検使為力中侍も近付候仏人打撃大炮為毎人共微塵
二成打碎衝撃為強之為数松之技上方捨ひ候中仏人を荒ちしバッテイラ
為稼之艦漕廻左右真長家来宅人物陰に陸ケベル為仏人共打
例に得を船に例迄此方首を立ふ中仏艦数艘国防撤之方へ艘を中
且京前田屋傷之弟右炮発悪打撃車屋を海中に沈め大炮共つ
打を打込人員に撃之招成果為埋屋中に中右戦争に付毎家之家来死
傷多く有之中に得を秘一番迄に付艘を分之長梅之丞へ絶和成中右余生
年拙方家力を絶和三百石口扶米之中

一

同月英国軍艦を艘国防撤之方へ艘為長府藩士平殊湯殿を

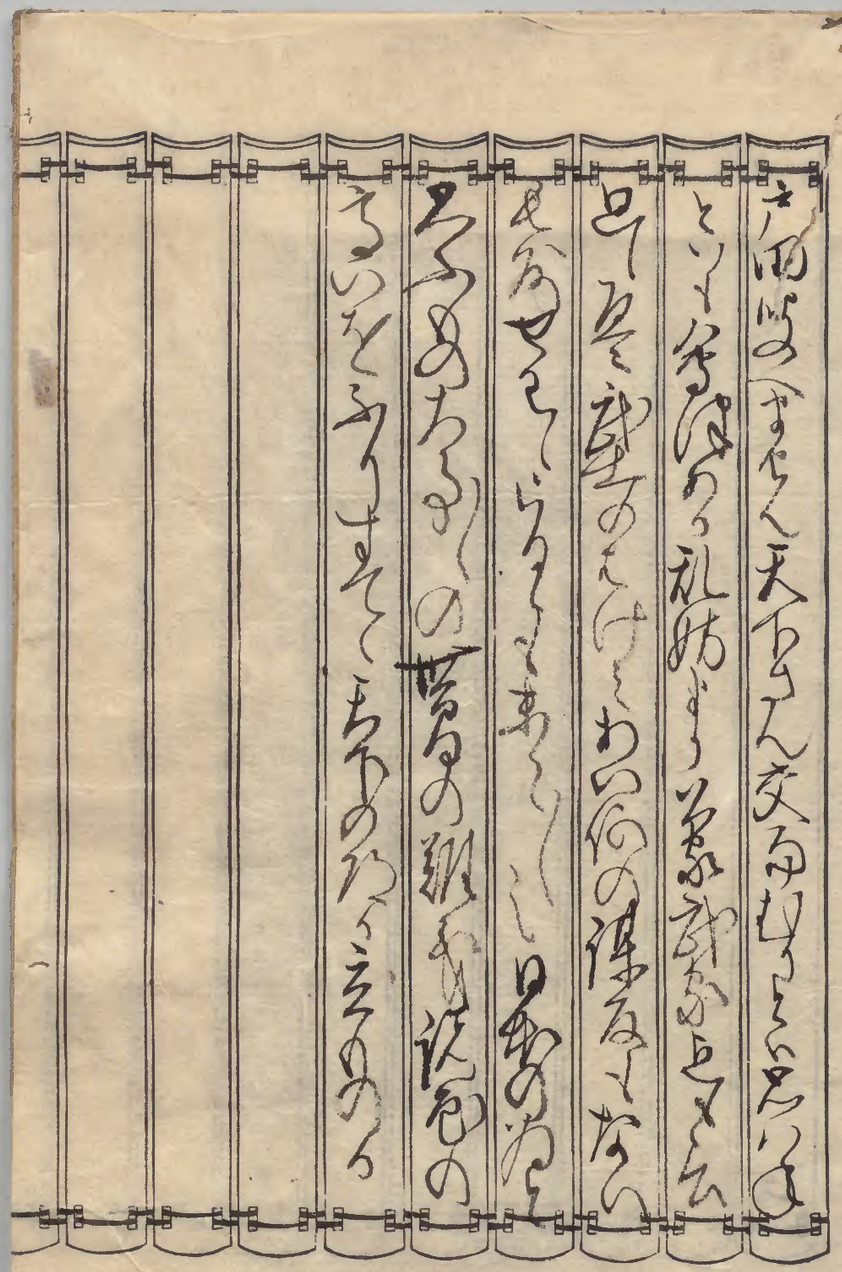
唱ヒ戦船ヲ出シ碇泊マヽ[illegible]ヲ[illegible]ル[illegible]山ヲ[illegible]ル[illegible]傷ヲ合ヲ[illegible]ル狼煙ハ揚ル得共
直ニ[illegible]ル[illegible]其艦モ同様ニ[illegible]ル[illegible]ル[illegible]ル

セコンス



たゝし直ゝ書付差出ゝ紙面差出ゝ様致し度ゝ存じ
奉候

一 南時毒賞新地三次大老利ゝ中老國司信濃守藤山壱岐守ゝ長府
宗老田代某雑倉防御ゝ隠居ゝ被仰渡ゝ



国立公文書館
National Archives of Japan